

ヘディングシュートを放つ京都紫光クラブの選手(アクアパルコ洛西)



平和堂杯少年サッカー

第3回平和堂カップ関西少年サッカー選手権府大会の決勝が10月31日、長岡京市のアクアパルコ洛西で行われ、京都紫光クラブが英道スポーツ少年団に1-0で競り勝ち、優勝した。

紫光は前半終了間際、コーナーキックからDF明石のヘディングシ

ユートで先制。後半も積極的に攻め、相手に得点を許さなかった。

両チームとベスト4入りの南つつじ少年クラブ、福知山FCが、関西少年サッカー選手権(12月11日、堺市サッカー・ナショナルトレーニングセンター)に出場する。

(中西英明)

▽準々決勝 紫光1-1(PK5-4)ソルセウ、福知山3-1羽東師、南つつじ1-0亀岡、英道5-1朱六

▽準決勝 紫光2-0福知山、英道1-1PK4-3南つつじ

▽3位決定戦 南つつじ2-1福知山

▽決勝 紫光1-0英道

京都紫光ク 競り勝ちV

基本徹底 雨の戦い制す

京滋
ジュニア
スポーツ

紫光は、雨でピッチとボールが激しく滑る中、「シンプルなプレー」で優勢を引き寄せた。無理なドリブル突破で相手をかわそうとせず、正確なパスや、必ずボールの正面に体を入れる基本を徹底した。

岡本コーチがキーマンとして挙げたGK谷口は、安定したセービングでピンチを未然に防いだ。谷口は「最初は緊張していたけど、少しずつ慣れた。チームメイトに的確な指示を出せたのも良かった」と胸を張った。

前半は相手に攻め込まれる場面も目立ったが、徐々に選手の動きが良くなり、後半は何度も相手ゴールを脅かした。先制点の明石は「良いボールが上がったので、冷静に決められた」と笑顔だった。

京都紫光ク

次は必ず勝ちたい

英道スポーツ・山田主将「紫光はディフェンスが固く、やっぱり強かった。関西選手権で勝ち上がって紫光と戦い、今度は必ず勝ちたい」



空中でボールを競り合う両チームの選手たち(アクアパルコ洛西)